

## 【参考資料】 これまでに制作したニュージーランド航空の機内安全ビデオのご紹介

ニュージーランド航空は革新的な機内安全ビデオの制作で世界的に知られ、2009年に公開されたボディ・ペインティングのビデオとその哲学は世界的な話題となりました。その後も定期的に新しいユニークなビデオを製作し、数えきれないほどの世界的な報道機関に取り上げられています。



### 「壮大すぎる機内安全ビデオ」編 2014年10月

ホビットをテーマに制作した機内安全ビデオとしては第2弾となる、『ホビット 決戦のゆくえ』公開にちなんだ作品。舞台である「中つ国」に、映画の登場人物や関係者が登場し、壮大すぎると話題に。YouTubeにて公開後わずか1週間で1600万回Viewを達成しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=xDQnCQIFoXc> (日本語字幕付)



### Safety in Paradise「パラダイス」編 2014年2月

米国スポーツ・イラストレイテッド誌の水着特集50周年を記念してコラボレートした作品です。クック諸島の美しい景色を背景に、カリスマモデル クリスティー・ブリנקリーらが、見た人を楽園へと誘います。

<http://www.youtube.com/watch?v=SI5Sb-z40hc&feature=youtu.be> (日本語字幕付)



### ペティ・ホワイト「昔ながらの機内安全説明」編 2013年10月

本作は、当社の機内安全ビデオとして初めてニュージーランド国外で撮影されました。米国の人気コメディ女優ペティ・ホワイトが「黄金の日々リゾート」という米国の架空リゾートで、人生を謳歌している住人達と暮らしているという設定です。

<http://www.youtube.com/watch?v=FJzDUlaJO10> (日本語字幕付)



### Bear Essentials「アウトドア」編 2013年2月

テレビシリーズ『サバイバルゲーム Man vs. Wild』で世界的に有名な英国人冒険家ベア・グリルスを起用し、ニュージーランドの南島、フィヨルドランド国立公園近くにある「ルートバーン・トラック」の雄大な自然をバックに撮影した、世界初「機体が登場しないアウトドア機内安全ビデオ」。

<http://www.youtube.com/watch?v=5SDeN36VoQ8> (日本語字幕付)



### Unexpected Briefing「思いがけないブリーフィング」編 2012年11月

映画「ホビット 思いがけない冒険」とタイアップした作品。ホビットやロード・オブ・ザ・リングの監督ピーター・ジャクソンをはじめ、映画の登場人物や関係者が登場することでも話題に。YouTubeにて公開後数日で100万Viewを達成しました。

[http://www.youtube.com/watch?v=R\\_xFIUphiR0](http://www.youtube.com/watch?v=R_xFIUphiR0) (日本語字幕付)



### Crazy About Rugby「オールブラックス」編 2011年5月

当社が長年スポンサーを務めるラグビーニュージーランド代表、オールブラックスの監督、選手が出演しています。ニュージーランド最高のスポーツヒーローであるキャプテン、リッチー・マコウも登場。このビデオが公開された2011年にはラグビーワールドカップでオールブラックスが悲願の優勝を果たし世界一の座を手に入れました。



### Fit to Fly「エアロビクス」編 2011年3月

ハリウッド・エクササイズの大先輩、リチャード・シモンズを迎えたエアロビクス風の安全ビデオ。タバコを蹴飛ばしているピンクのショートパンツの男性が実はニュージーランド航空のCEOです。

<http://www.youtube.com/watch?v=SUUcbE6fOrs>



### Nothing to Hide「ボディ・ペインティング」編 2009年6月

「隠すことは何もない」

預け入れ荷物料金、燃油代、食事代などを外して表示する航空会社がある中で、全ての料金を込みの価格で表示している当社。料金にも何も隠す部分がない、という哲学から当社を一躍有名にしたビデオは誕生しました。ビデオに出てくるスタッフは全員有志で集った本物の社員。何も隠さずボディ・ペインティングされたユニフォームで出演しています。<http://youtu.be/7-Mq9HAE62Y>

**【参考資料】**

ニュージーランド航空機内安全ビデオ「サーフィン！サーフィン！サーフィン！」編  
出演サーファー プロフィール

---

**大野修聖(日本)**

1981年、静岡県下田生まれ。日本ショートボード界の頂点に君臨するTOPサーファー。2004年、2005年、2年連続JPSAグランドチャンピオン(総合優勝)。その後世界で数々の輝かしい成績を残し、2013年には前例のない7戦連続優勝(国内プロツアーJPSAで5戦、国際選抜ツアーWQSで2戦)を収め、圧倒的な強さでJPSAグランドチャンピオンの座に返り咲く。

2005年～2012年調査最終回まで、サーフィンライフ雑誌の読者に8年連続全日本サーファー人気ランキングNo.1に選ばれた。

今なお日本人として国際選抜ツアーで残した成績は破られていない。

**アラナ・ブランチャード(米国)**

24歳のアラナ・ブランチャードは、過去4回にわたりワールド・チャンピオンシップ・ツアーに参戦し、女子パイプライン・プロで優勝を果たす。

ハワイ生まれのブランチャードにとってカウアイ島はホームタウンであり、世界各地で行われる大会に参加するなか、心休まる場所は変わらずハナレイ湾だそう。

ソーシャル・メディア上で最も影響力のある女性サーファーの一人であり、「FORBES」誌の「30 Under 30」(30歳未満の30人)、「スポーツ・イラストレイテッド」誌の「25 Under 25」(25歳未満の25人)に登場した。

サーフィン以外では、フィットネス・健康への関心が高く、ヨガやピラティスを楽しむ。水中や陸上で行える意欲的なトレーニングの開発にも携わる。

**アナスタシア・アシュリー(米国)**

カリフォルニア南部とハワイ・オアフ島で育った、ビック・ウェーブ・サーファー兼「スポーツ・イラストレイテッド」誌モデル。6歳でサーフィンを始め、プロ転向前に、16歳で初めてのタイトルを手にした。

サーファーとして才能を発揮するほか、主要メディアでスポークスパーソンを務める。テレビ番組にレギュラー出演し、「シェイプ」「セルフ」「ハフントン・ポスト」「GQ」各誌や2014年「スポーツ・イラストレイテッド」誌の水着特集でも取り上げられている。

**レアード・ハミルトン(米国)**

アメリカ出身のビック・ウェーブ・サーファーであり、クロスオーバースポーツの非凡な才能をもつ男として知られている。トゥインサーフィン、スタンドアップパドル・ボーディング、ハイドロfoilボーディングといったイノベーションを、サーフィン界に起こした中心的人物といわれる。

レアードは健康・食に対する考え方についても高い評価を受けている。著書「FORCE OF NATURE (2008)」ではサーフィンはもちろんのこと、心理、体、魂について触れており、「ニュー

「ヨーク・タイムズ」紙のベストセラーリストにランクイン。人気男性生活スタイル雑誌「Men's Journal」に寄稿している。プロアスリートヘトレーニング方法やメンタルケア、ボディケアについてのガイダンスなども行っている。

### ガブリエル・メディナ(ブラジル)

現在21歳のメディナは、プロ世界大会に参戦した選手のなかで歴代最年少。ジュニア・ワールド・ツアー(2013年)、男子ワールド・タイトル(2014年)の通算2勝を挙げている。

ブラジル・スポーツ史上最も有名な男性選手の1人に選ばれた他、最近ではタイム誌の「世界で最も影響力のある100人」に選出された。

### ミック・ファニング(オーストラリア)

オーストラリア・ニューサウスウェールズ出身。2002年にプロデビュー。2004年にハムストリングを怪我し選手生命の危機に陥るが、見事に復活し、2007年、09年、13年のWSLチャンピオンシップ・ツアーに勝利。2015年も同様の勝利を目指し、世界ツアーのスケジュール後半戦では、歴代タイ記録となる4度目のリップ・カール・プロ・タイトルを手にした。

### マズ・クイン(ニュージーランド)

ニュージーランド・ギズボーン生まれ。国内のサーフィン選手権では4回の優勝を記録し、ニュージーランドで最も優れたサーファーの1人として広く知られている。

1996年のビラボン・プロ・ジュニアシリーズの勝利後、2001年にクインはニュージーランド人で初めて世界チャンピオンシップ・ツアーに進んだ。現在は2015年ニュージーランド・プロ・シリーズ男子部門で首位を走っている。

### ペイジ・ハレブ(ニュージーランド)

2008年に初めて、女子ニュージーランド代表としてWSLチャンピオンシップ女子ツアーに出場して以来、毎年国際舞台に出場。デビュー戦で、当時世界ランク2位の選手に勝利。

ニュージーランド・タラナキで育ち、幼少時にサーファーである父親から教わったことをきっかけに、本格的にサーフィンを始める。

### リカルド・クリスティ(ニュージーランド)

16歳の若さでニュージーランドオープンを制し、同じく本機内安全ビデオに出演するマズ・クインに次いで2番目にニュージーランド人サーファーで世界ツアー出場資格を手にした。

先日西オーストラリアで開かれたツアー3戦目で、世界ランキング1位のブラジル人サーファー、フィリペ・トレドを破った。

### ミスター・ハリウッド

ミスター・ハリウッドは仔犬の時から水を愛するイングリッシュ・ブルドッグ。スケートボードが得意で、スキムボーディングができるようになり、最終的にサーフィンを習得した。プロとしてハンティング・ビーチ・サーフ・ドッグ・サーフィン大会に出場して以来、各種イベントや大会の看板犬となっており、今夏は米国で行われるサーフ・ドッグの大会で競う予定だ。

**【参考資料】****ニュージーランド航空機内安全ビデオ「サーフィン！サーフィン！サーフィン！」編  
出演サーファー コメント**

---

**大野修聖(日本)**

日本人史上、最高位にランクされるプロサーファー大野修聖氏は、本ビデオ出演のため、ニュージーランドのピハを訪れ、以下のようなコメントを寄せてくださいました。

「ニュージーランドには魅力的な波があり、その文化や独特な雰囲気は他の多くの国々と違ったものだ。ニュージーランド北島の素晴らしいサーフィン・スポットであるピハで、『サーフィン！サーフィン！サーフィン！』編の撮影ができたことは、本当にラッキーだった。日本人観光客の皆さんには、サーフィンをする方もしない方も、ニュージーランドへの旅をお勧めしたい」

**アラナ・ブランチャード(米国)**

ソーシャル・メディア上で最も影響力のある女性サーファーの一人、アラナ・ブランチャード氏は、「サーフィン！サーフィン！サーフィン！」編で女性サーファーたちが素晴らしいスキルを披露してくれたことがよかった、として以下のように述べています。

「世界中どこへ旅をしても、女性サーファーのレベルが向上しているを感じるわ。そしてニュージーランド航空のおかげで、ニュージーランドのペイジ・ハレブと一緒に、若手男性サーファーたちと関わる機会ができたことが、素晴らしかった」

**アナスタシア・アシュリー(米国)**

アメリカ人ビッグ・ウェーブ・サーファー兼「スポーツ・イラストレイテッド」誌モデルのアナスタシア・アシュリー氏は、以下のように述べています。

「ニュージーランド航空の機内安全ビデオを最初に目にしたのは、『スポーツ・イラストレイテッド』誌とのコラボでクック諸島をテーマにした作品なの。今回カリフォルニアのマリブでチームと一緒に撮影したことは、素晴らしい時間だったし、サーフィンというスポーツと、カリフォルニアの波が、こんなにもクリエイティブな形で紹介されるのを、楽しみにしている」

**レアード・ハミルトン(米国)**

米国のビッグ・ウェーブ・サーフィンの伝説を打ち立てたレアード・ハミルトン氏はラグランでの撮影で、ハイドロボードで巨大な波に乗るシーンに登場しますが、「サーフィン！サーフィン！サーフィン！」編の撮影は素晴らしい経験だったとし、次のように述べています。

「ニュージーランドには、世界でもトップクラスのサーフィン・スポットがいくつかある。ラグランでの私のサーフィン体験が、サーフボードを持ってニュージーランドに来て、国中をロード・トリップする夢を描いている世界中の何千人ものサーファーたちの心に火をつけられたらいいと思う。海でもそれ以外の場所でも、たくさんのアクティビティや経験ができるニュージーランドは、素晴らしい場所で、世界でも最上級にフレンドリーな人たちが待っているよ」

**ガブリエル・メディナ(ブラジル)**

現在男子サーフィンの世界チャンピオンであるガブリエル・メディナ氏は、機内安全ビデオの新しいテーマとしてサーフィンを選んだニュージーランド航空を称賛しました。

「サーフィンがかつてないほどグローバルに広まっていて、より多くの人々がサーフィンに興味を持ってもらえるなら自分のできることはすべてやりたい。ニュージーランド航空は、世界中の素晴らしいサーフィン・スポットを結んでいる。そのうちいくつかの場所で、伝説になっているサーファーたちとこの機内安全ビデオに出演できたことは、最高の経験になったよ」

### ミック・ファニング(オーストラリア)

オーストラリアのレジェンドサーファーであるミック・ファニング氏は、ニュージーランド航空の創造的な卓越性への尽きることのない探究心や、母国オーストラリアで自分のお気に入りのサーフィン・スポットを誇りを持って紹介できることに魅力を感じ、「サーフィン！サーフィン！サーフィン！」編に出演。

「仲間の何人かは、おそらく私がニュージーランドのエアラインと仕事をしたことをからかってくると思うが、この機内安全ビデオを通してニュージーランド航空が発信したメッセージは、オーストラリア・クイーンズランドの観光にとって素晴らしいものだと思う。僕はゴールドコーストが大好きだし、日中は世界でどこよりも最高のサーフィンが楽しめるのだ。この象徴的な場所に注目を集められることが、最高だね」

### マズ・クイン(ニュージーランド)

過去4回ニュージーランド王者に輝いたマズ・クイン氏は、以下のようにコメントしました。

「ニュージーランド航空が、ニュージーランド国内の最高のサーフィン・スポットを紹介しているのは素晴らしい。ビデオでは最高な場所と、実在するレジェンドサーファーたち、そして新鋭サーファーたちを組み合わせることに成功したようだ。見る人がそれを楽しめるといいね」

### ペイジ・ハレブ(ニュージーランド)

ニュージーランド女子ナンバーワンサーファーのペイジ・ハレブ氏は、以下のようにコメントしました。

「ずっとニュージーランド航空機内安全ビデオのファンだった、だからニュージーランド航空が私のお気に入りの国内サーフィン・スポットのいくつかを披露する最新作の出演の依頼があった時、真っ先に引き受けたの。ラグランとピハで、マズ、リカルド、レアードたちと撮影したことは、一生忘れない」

### リカルド・クリスティ(ニュージーランド)

ニュージーランド・ギズボーン出身で現在ブラジル・リオデジャネイロの4戦目に出場しているリカルド・クリスティ氏は、以下のようにコメントしました。

「マズ、ペイジ、レアードたちと『サーフィン！サーフィン！サーフィン！』編の撮影ができてとても楽しかった。ニュージーランドのレジェンドサーファーたち、そして史上偉大なサーファーであるレアードと一緒に、私の“庭”でもあるニュージーランドで波乗りができて、人生において二度とない体験だったよ」